



ごほんぞん

ご本尊

アフターケア通信

0

基本号

はじめてのお内仏

【ほとけさまとの生活】

“ご本尊”の意味を考える

「本当に尊いこと」とは？

このたびは真宗本廟（東本願寺）よりご本尊をお受けいただき、また本通信を手にとってくださいありがとうございます。

真宗のご本尊・阿弥陀如来は、絵（今回お受けになられたお姿）や文字（南無阿弥陀仏などの名号等）であらわされます。私たちを救おうとする色も形もない真実のはたらきを、あえて形で示したものです。

そこには、阿弥陀如来を守り神や願い事を叶えてくれる存在として拝むのではなく、どんな出来事も自らを育ててくださる大切なお縁として受け止め、本当に尊いことを見失わずに生きてほしいという願いがあります。

ご本尊を安置するお内仏が、本当に大切にしなければならない尊いものとは何かという問いをいただく場となる。そのために本通信が、ご家族、ひいては有縁の住職さんや坊守さんと語り合うきっかけとなれば幸いです。

表紙イラスト「打敷」

…法事の際、お仏壇の前卓または上卓に飾る敷物



今月の門徒さん

「仏具を磨いて心も晴れやかに」

染木 富美代さん（長崎組 勝廓寺）

友人宅に遊びに行った時、お内仏にお参りをしたら仏具が曇っていました。思い切って「次に遊びに来るときに仏具を磨いていい？」と話したら「よろしくね」と言ってくれました。

次回、金属磨きを持参して訪問しました。新聞紙に磨き粉を含ませて一緒に磨き出すと、見る見るうちにピカ〜っと光ってきました。友人は「こんなにきれいになるのね」とびっくりしていました。

しばらく後にお母様の法事を控えていたそうで、「これも何かのお縁ね」と友人からとても喜んでもらい、私も嬉しくなりました。



仏具磨きがお縁になるなんて、とても素敵です。お寺の仏具も「一緒に」おみがきすることを大切にしたいですね。

kyushu-kyoku

九州教区

発行：真宗大谷派 九州教区教化委員会

〒830-0038 福岡県久留米市西町 540-1 TEL.0942-32-3056



はじめての
お内仏
くぼとけさまとの生活



仏さまのお部屋

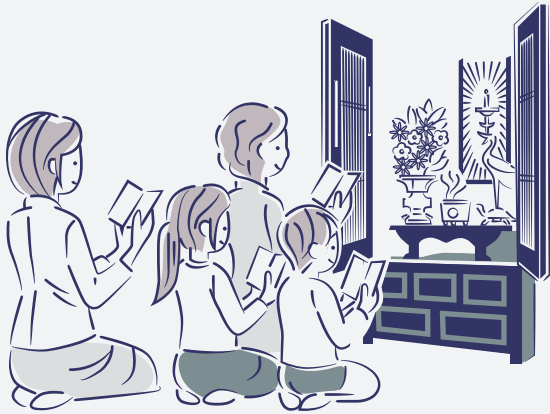
仏壇とお内仏



真宗ではお仏壇のことを「お内仏ないぶつ」と呼びます。ご本尊に手を合わせることに重きをおいた言葉です。私たちは仏壇と言いながら、仏さまよりも先祖を祀ることを中心とした先祖壇にしてはいいのでしょうか。「お内仏」はご本尊を中心とした生活を大切にしてきた真宗門徒ならではの呼び方だと言えます。

仏さまをお迎えする

御移徙ごいし



お内仏に新たにご本尊を迎える際、また場所を移す際には、お坊さんをお呼びして御移徙の法要を家族でお勤めしましょう。御移徙とは「入仏おわたまし式」や「入仏法要」、「御渡座おわたまし」とも言います。「ご本尊が渡って座す」、ご本尊を安置するという節目の大事な儀式です。ご本尊に新しい魂を入れるわけではありませので「お魂入れたま」

などの呼び方はふさわしくありません。もし、お内仏に魂というものがあるとすれば、ご家族皆様のご本尊を中心とした生活を営む中に自ずから備わっていくものでしょう。荘しょう厳ごん、いわゆるおかざりについては今後のアフターケア通信にてご紹介いたします。

ご本尊を中心とした生活

ご本尊を安置する場所や方角について、「方角が良くないと悪いことが起こる」「亡くなった人が成仏できない」などの考えを耳にすることもあると思います。真宗の教えからするとこれらは迷信と言わざるを得ません。特に気にする必要はなく、それぞれの住宅事情にあわせて、家族がいつでも心静かに礼拝できる場所を選ばれるのがよいでしょう。ご本尊を中心とした生活は、自分の人生を深く見つめる機縁となります。

年間予定表

- 1月 新たな年の始まりに(正月のお勤め)
- 2月 善し悪しのころ(節分)
- 3月 お墓って何だろう?(春のお彼岸)
- 4月 お釈迦さまの誕生日(花まつり)
- 5月 亡き人からのメッセージ(永代経)
- 6月 仏弟子としての名のり(法名)
- 7月 仏さまの願いにたずねる(真宗門徒にとってのお盆)
- 8月 仏教と平和(非戦の誓い)
- 9月 ご縁に出あう大切な行事(秋のお彼岸)
- 10月 食べることと生きること(いのちをいただく)
- 11月 真宗門徒の伝統(報恩講)
- 12月 煩惱が教えてくれること(除夜の鐘)

本紙はご本尊を受け取られたご門徒の皆様は毎月一回、一年間お送りし、仏事の作法や行事をお届けいたします。